

3学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和8年4月27日 第7号
文責:江頭 俊輔

[ブロック結団式があります!]

いよいよ、今日はブロック結団式です。リーダーたちはこの日のために、昼休みや放課後にたくさんの打合せを行い、準備してきました。めざすは先制点。はじめてのブロック全員での集会で、3年生が一丸となって声を出し、「体育会に向けて頑張ろう!」という雰囲気を作りましょう。初めて体育会を経験する1年生にとって、「楽しみだ!」とワクワクする体育会学習のスタートに、2年生には「来年はこんな姿になりたい!」と憧れを抱く結団式にしましょう。そのためにもみんなで声を出して、盛り上げていきましょう。

[誠の旗に集いし、夢を確認しましょう。]

さて、春休みに「ちるらん～新撰組鎮魂歌～」というドラマが放送されたのを知っている人はいますか?豪華俳優陣がキャスティングされ、話題になりました。江頭は大学生のときから「新撰組」がとても好きだったので、ワクワクして視聴しました。今回は江頭のスマホの壁紙にもなっている新撰組の隊旗について紹介します。



新撰組について簡単に説明すると、江戸時代末期に京都の警察的な役割として、活躍しました。しかし、薩長同盟以後、時代の動乱に巻き込まれ、最後には新政府軍の「敵」として、戊辰戦争に巻き込まれていきます。(新撰組に心を寄せるととても悲しい物語です。気になる人は調べてみてください。)

江頭は新撰組の生き様から「最後の武士」として新撰組を捉えています。この生き様には多くの人も影響を受け、先述の「ちるらん」をはじめ、「銀魂」、「るろうに剣心」など多くの作品でモチーフとなったキャラクターが登場したり、パロディーが作られたりしています。

新撰組の生き様を理解するためには、時代背景を理解しなければなりません。社会科で学習したと思いますが、約300年続いた江戸時代末期というと、平和な期間が長く、「武士」という身分はもはや「闘う集団」ではなく、官吏や学者などの「知識人・読書階級」としての色合いが強くなりました。そんな時代背景で、多摩という地方で、農民だった近藤勇をはじめとする若者が集い、新撰組へと発展していきます。

もともと武士の身分ではなかった近藤たちが作った隊旗(左上図)の「誠」に込めた想いは、当時大学生で、教師を志していた江頭の心に刺さりました。「誠(まこと)の武士になる!」武士でない者たちの熱い想いは、「誠(まこと)の教師になる!」という江頭の決意に繋がっていきました。

[ブロック結団式で頑張ること!3年生みんなが「誠」のリーダーとなるために]

さて、話を戻しましょう。今日はブロック結団式です。リーダーという立場だけが、「リーダー」であるという証明にはなりません。リーダーとしての確固たる意志と決意を行動で見せましょう。大きな声を出す場面は、120%で盛り上げましょう。ポイントは【得意な人が手を抜かない、苦手な人があきらめない】です。声を出すのが苦手な人もいるはずですが、そんな人も「声を出してみよう!」と思う会にするのが、得意な人の役割です。それができてこそ、3年生、リーダーたちです!

逆に、静かに聞く場面では、凛として姿勢を正し、リーダーの話に耳を傾けましょう。一瞬の切り替えができる姿は後輩へのいい見本になるはずですが、今日の3年生の姿が「タイムカプセル」のように、来年の体育会で受け継がれていくことを、江頭は求めています。君たちならできます!そして、やらなければなりません。体育会学習のスタートの一步をみんなで大きく踏み出しましょう!ガンバレ、3年生!